

「通常の学級」のなかの支援を必要とする多様な児童生徒への教育実践研修 実施要項

1. 趣 旨：

本研修は、「通常の学級」における支援を必要とする多様な児童生徒がともに学ぶことをめざした教育実践力の養成をねらいとする。

すべての児童生徒が「参加できる・参加したくなる授業づくり」や「通常の学級」、「特別支援学級」、「通級による指導」等の「多様な学びの場」の連携・協働を通して、共生社会の基礎となる教育実践について研修する。

なお、本研修は、琉球大学教育学部（「教師塾事業」、「トータル支援事業」）との協定・協力に基づき実施される。

2. 期 日：

研修会 : 令和6年2月16日（金）14:00～16:30 受付13:40

3. 会場：

研修会 : 石垣市教育委員会大会議室3（市役所2F）

4. 参加対象：

通常の学級の担任、特別支援学級の担任、特別支援教育コーディネーター
特別支援教育支援員、子ども自律サポーター等

5. 日程・内容：

時間	内容
13:40～	受付開始
14:00～14:05	あいさつ 上原 太郎 (石垣市教育委員会 学校教育課 課長)
14:05～14:15	【通常の学級の実践について】 通常の学級のなかの支援を必要とする子どもへの教育実践 浦崎 武(琉球大学教職大学院 教授)
14:15～15:00	【実践報告】 通常の学級における多様な子どもの「参加」を大切にする 授業実践 鈴木 陽子(琉球大学教職大学院)
15:10～15:40	【講話】 通常の学級における教育実践を振り返って：自己肯定感の 育成を通して 吉濱 剛(学校法人大庭学園立石垣市認定こども園新栄町 こども園 園長)
15:40～16:10	【まとめ】 子どもの“楽しみ”からつくる教科学習と自立活動の実践 浦崎 武(琉球大学教授)
16:10～16:30	質疑・応答

6. 連携・協働

協定協力：琉球大学教育学部・教職大学院（教師塾事業）・トータル支援事業：発達支援教育実践室）